

日時：令和7年10月30日（木） 14：00～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRY ルーム

1 開会

2 学校長挨拶

3 出席委員紹介

・株式会社富士精機 代表取締役社長	田村 孝	委員	
・森ノ宮医療大学 顧問	雑賀 文彦	委員	
・大阪市立摂陽中学校 校長	垣花 正信	委員	
・陽親会 理事	宮崎 日和	委員	
・大阪府立東住吉総合高等学校 P T A会長	前田 かおり	委員	計5名

4 授業見学

- ・英語科「リーディング」
- ・数学科「数学Ⅰ演習」
- ・住環境系列「建築施工」

5 教科書閲覧

令和8年度に使用する教科書の閲覧

6 協議・助言

(1) 令和7年度学校経営計画進捗状況

令和7年度の学校経営計画内の中期的目標項目（ビジネス系コンテスト、自己診断、遅刻件数、部活動加入率、残業時間、外部講師との連携等）について説明。

(2) 保護者からの学校運営に関する意見の提出状況

令和7年度10月30日現在、意見書の提出なし。

(3) 授業改善に向けて

主に「授業充実チーム」が公開授業期間の設定、ICTツール研修会の実施している。

(4) 質疑応答

Q：授業見学を通して、教員が授業の中で全体を見て回り、一人ひとりの学力に合わせた指導方法をとっていたが、この指導方法に至った理由は何か。

A：以前は、全体に説明する指導方法をとっていたが、このスタイルが本校の生徒にとって、適していなかったため、机間巡視をしながら、一人ひとりに応じた指導方法に変更した。

Q：今の授業方法は生徒が先生に気軽に質問しやすく、またグループでわからない箇所を教える場面を見たが、画期的で良い授業であると思う。昔は、情熱が伝わってくる先生が多かったと思うが、現代でも教員の情熱は不可欠。今後もそのような授業を行ってほしい。

A：実際に授業をしていて、教師側の情熱も必要であると感じている。今後も情熱を持って生徒たちの指導にあたっていく。

Q：大阪市内の中学校では、1人1台端末のOSが12月に変更される予定だが、高校でも機器の更新などの変更予定は。

A：大阪府の高校は、現在の端末を今後も継続して使用する予定となっている。現在の使用端末は、大阪市立の中学校とは異なるものを使用している。

Q：授業見学ではICTの利用や机間巡視など、良い雰囲気で行われていた。授業充実チームには、経験豊富な先生も入ると良いのではないか。

A：生徒の学習習慣をどのようにして身につけさせるかが課題である。上手に教員から導くことができれば、学力も上がるので、力を入れて指導を継続していく。

7 その他

(1) 第3回学校運営協議会 令和8年2月19日(木) 14:00～16:00 (予定)

8 閉会